

臨床美術の
現場から

33

みんなの心に笑顔を咲かせよう！

社会福祉法人 円勝会
特別養護老人ホーム シルバーコースト甲子園
【兵庫県西宮市】



❖ 全国でも珍しい 法人所属の臨床美術士として

法人で臨床美術を導入されたのは、以前よりお知り合いだった理事長に臨床美術について紹介させていただき機会に恵まれ、その内容に大変興味を示していただいたことに始まります。法人の役職員に体験をお願いし、臨床美術のプログラムで制作していただいたところ、「学校で教わった絵の描き方と違って、絵を描くのが苦手な自分でも自然に手が動いた」「褒められるとやっぱり嬉しい」「地域貢献のひとつとして講座が開催できるのでは」と概ね好評だったことなどから、3年前、社会福祉法人所属の臨床美術士として採用されました。現在は法人内の9つの施設（高齢者施設、



障がい者施設)をはじめ、地域包括支援センターと連携して地域の方々を対象に臨床美術講座を開催しています。各施設では、デイサービス利用者を対象に多くの方々に参加していただいています。より良い講座となるよう、職員研修会で臨床美術体験や勉強会を行い、昨年までに職員3名が臨床美術士の資格を取得しました。また、最近新たに臨床美術スタッフとして職員を迎え入れ、ますます臨床美術講座に力を入れています。

❖ 自己肯定感を高める

昨秋は、プログラム「紅葉の風景」「柿のネガポジ画」を実施しました。制作前の皆さんの表情は少し不安そうでしたが、制作が進んでくると真剣な眼差しになり、完成した作品の鑑賞会では、満足感いっぱいの笑みが



溢れます。そして、一人ひとりの作品を認め合い、さまざまな言葉が出てきます。「家族で秋の山を登ったのを思い出したのよ」「子供のころ住んでいた所に大きな銀杏の木があってね」。会話がはずみ、時間を忘れそうになることもあります。職員からは「臨床美術講座の時は、普段見られない表情や言葉が出たりしてびっくりします。皆さん、この時間をとても楽しみにされています」など。また、利用者のご家族からは「臨床美術があった日は、制作した作品を手にしながら、笑顔で話をしてくれます」などと嬉しい話をたくさん聞いています。参加者の達成感のある笑顔に接することができ本当に幸せです。誰にでも人に「褒められたい」「認められたい」気持ちがあるはず。臨床美術士の私が自信をもって言えることは「臨床美術によって自己肯定感を高めることができる」ということです。

❖ コロナ禍でも臨床美術

令和2年4月7日に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されて以降、働き方や生活様式が変容するなか、人との接触を避けられない臨床美術を実施することは大変困難な状況にありました。しかし、施設ではできる限りの感染予防対策をしながら臨床美術講座を休むことなく実施しています。掲載の写真は昨年の秋のもので、参加者と握手であいさつをし、テーブルに向き合って座り、マスク着用もなくにぎやかなセッションができていました。今は、残念なことに臨床美術の大切な要素である、はじまりの握手はできていません。ただ、感染症のことが心配でデイサービスの利用に不安がある中、「今日はお休みしようかと思っ

ていたけど、臨床美術ができてよかったわ！」と笑顔で言ってくれたことは、私たち介護従事者にとって大きな励みになりました。

❖ 心に笑顔を咲かせたい

人の命を守ることは最も大事なことです。コロナ禍で自粛を余儀なくされ、自宅に閉じこもってしまい、別のリスクが高まってしまふことも懸念されています。このような環境のなかにおいても、私たちができる限りの感染予防対策（3密を避け、消毒、換気を徹底し、机の配置の変更、参加人数を減らしアクリル板を設置するなど）を実施し、以前にも増して利用者に寄り添うことによって、心に笑顔を咲かせるような生活をサポートできるのではないかと考えています。

【臨床美術士 中谷真理】

◎社会福祉法人 円勝会
特別養護老人ホーム シルバーコースト甲子園
〒663-8143 兵庫県西宮市枝川町 17-40
TEL: 0798-43-0470

◎社会福祉法人 円勝会
法人本部
〒679-4132 兵庫県たつの市誉田町福田 780 の3番地
TEL: 0791-63-2700
ホームページ: <https://enshoukai.com>
《たつの市》高齢者施設 4 事業所 / 障がい者施設 2 事業所
《西宮市》高齢者施設 3 事業所 / 障がい者施設 4 事業所
/ グループホーム 31 か所

アートセラピー「臨床美術」とは

絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることによって脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法（アートセラピー）のひとつです。

1996年に医師、美術家、ファミリーケア・アドバイザーがチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴の臨床美術は、介護予防事業など認知症の予防、発達に気になる子どもへのケア、小学校の特別授業、社会人向けのメンタルヘルスケアなど多方面で取り入れられ、いきいきと人生を送りたいと願うすべての人へ希望をもたらしています。

◆芸術造形研究所ホームページ
<http://www.zoukei.co.jp/>
◆日本臨床美術協会ホームページ
<http://www.arttherapy.gr.jp/>

表紙掲載作品

プログラム名「紅葉の風景」 制作者：シルバーコースト甲子園臨床美術参加者